

酒田西高生が「手提げ袋」デザイン

酒田土産と一緒に



山居倉庫やメロンなど、酒田の魅力をテーマにデザインした手提げ袋

酒田市の酒田西高(小松幸樹校長)の生徒がデザインを手掛けた「酒田の観光PR手提げ袋」が完成した。地域の特産品や名所のイラストが描かれ、地酒をはじめお土産を入れるのにぴったりのサイズ。近く、市内の土産物店で販売するなどとして活用する。

山居倉庫やメロンなど 魅力テーマ

メロン▽酒田舞娘▽スルメイカ▽飛島―などを抽象的に描いた10種類のモチーフをちりばめ、幾重にも重ねたデザイン。朱色、藍色、山吹色などカラフルでありながら、和の雰囲気も感じさせる色使いで仕上げた。紙製で高さ35センチ、幅23センチ、マチ11センチ。日本酒の4合瓶がちょうど2本入るサイズだという。

2月25日に同社の担当者が同校を

して見せ合うなど、共同制作では、アイデアを視覚的に共有することが大切と学んだ。「今まで知らなかった酒田の魅力に気付いた」「活気ある未来への期待を込め、にぎやかで見ただけで楽しくなるデザインにした」などと話した。

1500個を作製。山居倉庫内の市観光物産館「酒田夢の倶楽部」で308円で販売するほか、市主催のイ

訪れ、完成した手提げ袋をお披露目した。6人は「完成予想を絵や図に

ベントで配るなどとして活用する。

(吉村瑛人)

グラフィックデザインや印刷業のコマツ・コーポレーション(同市)が、観光PRに若者の視点を取り入れると共に、地域の魅力や物づくりの楽しさを生徒に感じてもらうと企画した。選択科目「美術Ⅲ」の授業の一環で、3年生6人が「わたしの好きな酒田」をテーマにアイデアを出し合い、デザインを考えた。手提げ袋は▽山居倉庫▽庄内砂丘



観光PRに活用する手提げ袋のデザインを手掛けた3年生6人 〓酒田市・酒田西高